

## 令和3年度 長岡市一般廃棄物処理実施計画と実績

### 1 令和3年度の取り組み（令和3年度 長岡市一般廃棄物処理実施計画 一部抜粋）

#### （1）排出抑制

##### ア 家庭ごみの一部有料化

燃やすごみ、燃やさないごみ、生ごみは指定袋で、粗大ごみは処理券シールの貼付により有料収集し、分別の徹底を推進。

##### イ 家庭用生ごみ処理器（堆肥化容器）の購入費補助

生ごみを堆肥化する容器の購入費を補助し、家庭での生ごみの減量と資源化を支援。

##### ウ 生ごみの水切りの励行

生ごみは水分を多く含むことから、水切りの徹底を広報紙や市政出前講座などで周知。

##### エ 枝葉・草の自家処理の励行

枝葉・草は、身近な大地への還元を広報紙や市政出前講座などで周知。

##### オ 事業所ごみの減量化の促進

事業用大規模建築物の所有者から減量計画書等の提出を求める。

事業所用指定袋への事業所名の記載を徹底し、排出者責任を明確にする。

##### カ マイバック運動等の推進

レジ袋や紙袋、びん・缶・ペットボトルの排出を抑制するため、マイバック運動やマイボトル運動の普及を図るとともに、簡易包装製品の普及や購入の推奨、リサイクルショップやフリーマーケットの活用促進を図る。

##### キ 食品ロス

食品の食べ切り、使い切り等の励行を広報紙や市政出前講座などで周知。

#### （2）再使用・再資源化

##### ア 生ごみを、生ごみバイオガス発電センターで有効活用

生ごみは、生ごみバイオガス発電センターで発酵・分解し、発生するバイオガスを発電等に利用。

##### イ 枝葉・草の資源化の推進

収集した枝葉・草は、培養土・有機肥料の原料のほか、発電用燃料とする。

##### ウ 資源回収奨励金交付事業の実施

古紙類や金属類を集団回収した子供会等に、資源回収奨励金を交付し、資源化を推進

##### エ 資源物の拠点回収の実施

常設拠点と山古志、小国、与板、川口地域にサテライト拠点を設置し、リユースびん、古着・古布、食器類、小型家電、びん・缶・ペットボトル、古紙類（新聞、雑誌・チラシ、段ボール）、使用済み天ぷら油、靴、かばん・ベルト、ミックスペーパーの排出の機会を増やし、ごみの減量と資源化を推進。

## 2 計画収集及び直接搬入

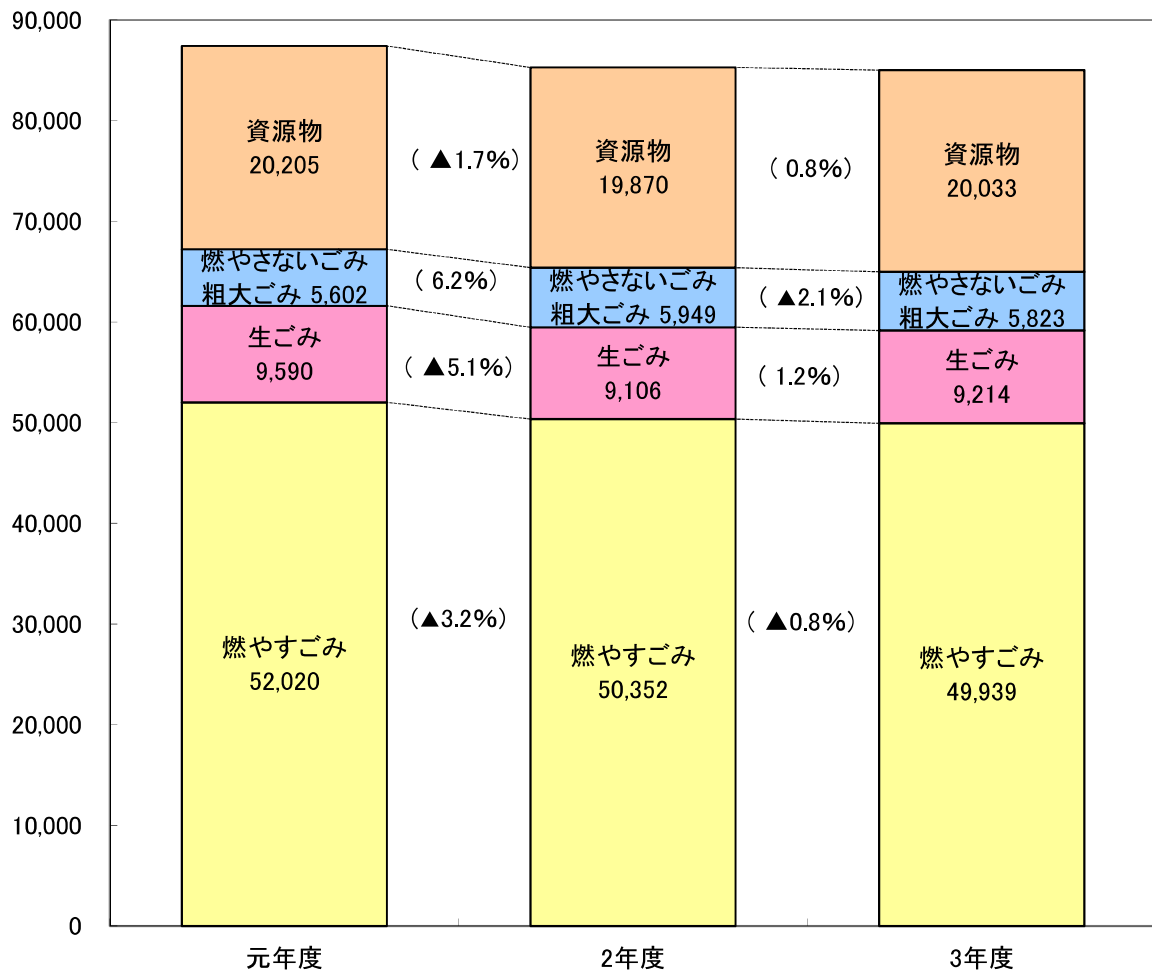
区分		収集運搬計画			
		収集主体	収集方式	収集回数	収集量
ごみ	燃やすごみ (うち生ごみの発酵不適物)	委託	ステーション方式	週 1 回	51,730 t (3,740 t)
		許可	戸別	随時	
		排出者	—		
	燃やさないごみ	委託	ステーション方式	月 2 回	4,500 t
		排出者	—	随時	
	粗大ごみ	委託	各戸	随時	1,320 t
		排出者			
	生ごみ	委託	ステーション方式	週 2 回	8,780 t
		許可	戸別	随時	
		排出者	—		
資源物	びん・缶・ペットボトル	委託	ステーション方式	週 1 回	3,570 t
	プラスチック容器包装材	委託	ステーション方式	週 1 回	3,760 t
	古紙	委託	ステーション方式	月 2 回	5,670 t
	枝葉・草	委託	ステーション方式	週 1 回	4,090 t
			拠点回収方式	指定日	
	古着・古布	委託	ステーション方式	月 2 回	240 t
	有害危険物	委託	ステーション方式	月 2 回	60 t

ごみと資源物の排出状況  
(集団回収分を含む)

(単位:トン)

区分	元年度	2年度	3年度
燃 や す ご み	52,020	50,352	49,939
生 ご み	9,590	9,106	9,214
燃 や さ な い ご み 粗 大 ご み	5,602	5,949	5,823
資 源 物	20,205	19,870	20,033
(行政回収・拠点回収)	17,877	18,520	18,572
(集団回収)	2,328	1,350	1,461
計	87,417	85,277	85,009
対 前 年 比 ( % )	▲ 0.3	▲ 2.5	▲ 0.3
参 考 : リ サ イ ク ル 率	24.0%	23.7%	24.2%

令和元年～令和3年度のごみと資源物の排出状況 (単位:トン)



※( )は前年度比